



あ 考える葦



下野市立古山小学校
校長室インフォメーション
平成28年度 NO. 7
平成29年 3月10日
発行責任者 阿嶋 敬一

学校評価(保護者アンケートや自己評価の結果) 特集号

校長室前の窓の外には杏子(あんず)や河津桜のピンクの花が開きはじめ少しずつ春の息吹を感じられる季節になってきました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご支援ご協力いただきまして改めて御礼を申し上げます。

さて、皆様にご協力いただきました「学校評価」保護者アンケートの平成28年度の結果とその分析等がまとまりましたのでお知らせいたします。なお、今年度の達成度(H28)を「Aそう思う」と「Bおおむねそう思う」を合計したパーセントとして示しました。(H27は昨年度の達成度です。)さらに教職員と児童の自己評価の主な結果と分析も掲載しました。併せてご覧ください。ご協力ありがとうございました。

1 保護者アンケートの結果と分析

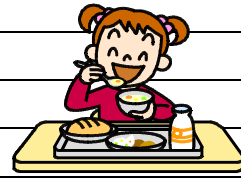
		評価項目	H28	H27
教育活動について	1	お子さんは、楽しく学校生活を送っている。	97%	99%
	2	お子さんは、あいさつがよくできている。	82	82
	3	お子さんは、授業がよくわかり意欲をもって学習している。	82	78
	4	お子さんは、思いやりがあり他の人のことを考えた行動がとれている。	91	88
	5	お子さんは、進んで読書をしている。	48	55
	6	お子さんは、自分なりの目標をもち真剣に取り組んでいる。	72	74
	7	学校は、子供に対し、いつも温かく声をかけたり、励ましたりしてる。	90	89
	8	学校は学校生活を豊かにする行事や活動をしている。	96	94
	9	学校は安全指導を適切に行い、子どもの安全確保や事故防止に努めている。	96	95



全体的におおむね良好な結果でした。3のわかる授業については、昨年度より良好の割合が上がりましたが、教師の指導力について更に質の高い授業を追究する必要性を感じています。教員の授業研究や研修は今年度増加させましたが、今後とも基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用した思考力・判断力・表現力等の学力をさらに向上させていきます。また、文部科学省「全国学力・学習状況調査(6年生)」や栃木県教育委員会「とちぎっ子学習状況調査(4・5年生)」「新体力テスト」等についても今で以上に好成績が収められるよう、努力していきたいと考えています。5の読書活動については朝の読書や図書室の活用の充実を図り、年間25冊の本を読むことの実現を家庭との連携を深めながら継続していきます。7については、教育相談週間を設けたり、学級の満足度に関する新たな調査等を実施したりしています。今後とも調査の分析をするとともに日常の学校生活の中で、悩み等の早期発見に心がけ、悩みをもつ児童に対しては、学級担任だけでなく複数の関係職員で組織的に対応ができるよう努力していきます。また、市教委のサポートセンターなどの関係機関とさらに連携していきます。

家庭との連携	10	学校の教育目標や学校経営の方針、学校行事などを学校ホームページや様々な便りなどによって、保護者に分かりやすく伝えている。	97%	96%
	11	学校は、地域や保護者の協力・参加を得て、よりよい教育活動を行っている。	96	97
	12	学校は、家庭への連絡をきめ細かく行い、子どもの様子などを分かりやすく伝えている。	82	82
	13	学校と家庭とが連携して、適切な家庭学習ができるようにしている。	83	80
	14	学校は、保護者からの連絡や相談に誠実に対応している。	93	95

全体的におおむね良好な結果でした。10については、授業参観や各種の「たより」、校長室通信「考える葦」の広報、各種の新聞への掲載等の情報提供に心がけました。また、学校ホームページの充実を図り、各種の行事や日常の出来事、学校生活の児童の様子をスピード感をもって更新し、写真やコメント等で情報提供を行いました。たくさんアクセスをいただきありがとうございます。今後とも、学校ホームページや一斉メール・マスコミなど様々な手段を活用した適切な情報発信に努めていきます。12については学校の対応に課題もあると考えていますので、まずは学級担任による連絡帳の記述や、電話等での連絡を更にきめ細やかに実践し、保護者の皆様に信頼感と安心感のある学校づくりに努めていきます。13については、古山小学校オリジナルの「家庭学習の手引き」を学校ホームページでの発信や家庭への周知を通して家庭と連携を深めるとともに、適切な宿題の在り方を検討していきたいと考えています。14については、引き続き保護者からの連絡・相談には、管理職を含め真摯に誠実に対応していきます。



子どもの家庭生活	15	お子さんは、朝一人でおきる。	53%	51%
	16	お子さんは、朝食を毎日食べている。	90	97
	17	お子さんは、忘れ物をしないように持ち物を確かめている。	76	78
	18	お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	77	77
	19	お子さんは、家族とよく話をしている。	95	96
	20	お子さんは、家事の分担をきちんと果たしている。	66	66

16の朝食の摂食率が低下しました。課題として捉えていますので、今後は日々の保健指導や体力づくり・給食を含めたバランスのよい食事などの食に関する指導を充実させることで、健康教育を推進していきます。17・18についても学校や家庭での基本的な生活習慣の取組が、適切な学習習慣につながることを意識させていきたいと考えています。ご家庭でもバランスの良い朝食を毎日食べることや、忘れ物をなくすためのご協力をお願いいたします。

その他	21	保護者の皆様は、学校ホームページや学校からの便り（校長室通信、学年だより、保健だより、給食だより、図書館だより、連絡帳等）に目を通している。	96%	98%
	22	保護者の皆様は、子どもの話をよく聞いている。	97	97

良好な結果でしたが、昨年度よりやや低下しました。21につきまちは、各種便りの内容を更に充実させて保護者の皆様を読みたくるように改善を図っていきます。22については素晴らしい結果でした。家庭においてお子様との会話を大切にしている家庭環境に心から感謝いたします。

今回のアンケートでは、自由記述による意見もいただいております。特に改善に関する意見については真摯に受け止めて、反省すべきところは反省し、教職員で課題の共有化を図り、更によりよく変身したいと思っています。

今回のアンケートへのご意見等だけでなく、何か気になるところや疑問がありましたらいつでもお気軽にご意見等をお寄せいただきますようよろしくお願いいたします。

2、学校評価（教職員による自己評価）の主な結果と分析について

○教職員による自己評価において、やや低い評価であり、今後の課題と考えられる項目は以下の通りです。

- △確かな学力の向上全体の評価項目が、昨年度よりやや低い評価になっている。（朝の学習の充実やとちぎの子ども基礎基本の活用、個に応じた指導の工夫の実践について研究を推進していくことが今後さらに必要です。）
- △道徳教育の充実に関する「ねらいに迫る道徳の授業の実践」と「計画的な授業の実践」（道徳の時間の授業研究会と講話による研修を今年度実践したが、まだ効果は道半ばです。次年度も研究授業などの研修に取り組みます。）
- △安全な生活の確保に関する「危機管理マニュアルの活用」「感染予防策の徹底」（登下校の交通安全の指導や避難訓練の内容を前年踏襲ではなくさらに改善していきます。そして自分の命を自分で守ることのできる児童を育てます。インフルエンザや感染性胃腸炎等については家庭や関係機関と開かれた学校の観点から積極的に情報を発信し、また情報を収集し問題点を共有して、スピード感のある対応に心がけていきます。）

○高評価だった項目

- ◎確かな学力に関する「学習意欲の向上」（引き続き学習意欲が向上できる学びに向かう学級づくりを推進します。）
- ◎体験活動の充実に関する「校外活動、宿泊学習等の充実」（時期、場所、活動内容等について工夫します。）
- ◎体力向上と健康の保持増進に関する「活力のある体育の授業」「業間活動の充実」（体力向上については本校児童の課題であるので、教科体育での運動力の増加、古山オリンピックの充実をさらに図っていきます。）

3、学校評価（児童による自己評価）の主な結果と分析について

全体的にはほぼ昨年度とほぼ同様な傾向です。「よい」「おおむねよい」の児童が多く、「学校にくるのが楽しい」では94%の児童が肯定的な回答です。読書については20%程度の児童に課題があり改善をしていかなければならないと思っています。教育相談の「先生に相談できる」では20%の児童が否定的な回答であり、教育相談週間や相談ルームの確保、先生方の教育相談の技能などの充実を図る必要があると感じています。「宿題や家庭学習を進んでやっている」は12%の児童が課題であるので、学力の定着を図る上からも家庭と連携して取り組んでいきます。

4、学校評議員からの学校評価の結果や教育活動全般に関する主なご意見とご感想（学校関係者評価）

- ・子どもたちは素直に伸びているようでありがたい。先生方の指導に感謝している。
- ・古山小祭や吹奏楽部の演奏会を見てみると表現力が高まっているように感じる。（校長：思考力と共に表現力は今求められている大切な学力の一つである。さらに子どもたちが授業も含めて様々な場面で臆することなく自己を表現する場の工夫をしてきたい。学校課題としても研究を深めていきたい。）
- ・読書活動は判断する力や感受性を育てていく。良い本を紹介するなど指導を進めてほしい。伝記などを読むことは将来の自分の姿にも結びつく。また、国語の力をつけてほしい。言葉づかいの丁寧さなどにもつながる。読書活動から得るものは多い。（校長：朝の読書活動の充実やボランティアによる読み聞かせ、市の図書館の利用も促進したい。児童一人当たり年間25冊以上の読書の実現も継続して取り組んでいきたい。）
- ・給食の時間が楽しいとの回答が多い。好き嫌いを減らす努力をお願いしたい。（校長：給食指導を充実させます。）
- ・家庭に向けて悩みアンケートを出すなどして、児童の様子を把握してほしい。児童が困ったことを相談できる体制をぜひ構築してほしい。気軽に児童や保護者が相談できる雰囲気作りが大切である。（校長：我々は多忙なときでもそれを理由にすることなく、子どもに寄りそうことを最優先に、子どもファーストの考え方や行動が大切であることを全職員で再度確認していきたい。）
- ・運動会や古山小祭での「赤ちゃんの家（授乳室）」の設置はすばらしい。他校ではなかなか見られないこと。本校PTAの温かさを感じる。（校長：本校PTAの活動については学校に大変協力的であり、さらに内容も充実していて感謝の気持ちでいっぱいである。今後とも連携を図り、共に古山小の子どもたちのために努力していきたい。）

※今後とも更に充実した古山小になるよう改善を図っていきます。地域や保護者の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。